

那須塩原市 君島寛市長 式辞

本日ここに、オーストリア共和国リンツ市と那須塩原市との姉妹都市提携調印式を挙行いたしましたところ、ご来賓並びに関係者の皆様には、時節柄、公私共にご多用中のところご臨席を賜り、厚くお礼申し上げます。

このように大勢の皆様に見守られ、かねてから交流を深めてまいりましたリンツ市との姉妹都市提携調印式を、ここ旧青木家那須別邸におきまして実現できますことは、この上なく喜ばしい限りでございます。

ルガー（LUGER）市長ご夫妻、ヴィンマー（WIMMER）副市長はじめ、リンツ市要人の皆様、遠方より、この那須塩原市によろしくお越しくださいました。那須塩原市民を代表しまして、心より歓迎申し上げます。

ここ旧青木家那須別邸は、国の重要文化財に指定され、道の駅「明治の森黒磯」の一部として市民にも親しまれる施設となっておりますが、リンツ市と那須塩原市の交流の歴史を振り返る上で、運命の始まりともいえる重要な場所でございます。

明治時代、ドイツ公使や外務大臣などを務めた青木周蔵（あおき しゅうぞう）氏は、那須塩原市に青木農場を開いた後この別邸を建設し、来訪の折には、黒磯駅から妻のエリザベートさんや娘のハナさんとともに、馬車でこの杉並木を通り抜け、やって来られたということでございます。

それから時を経て、平成16年に、リンツ市に在住されております周蔵氏の子孫 ニクラス・サルム伯爵が、青木小学校創立100周年記念の際、来日されたことをきっかけとして、リンツ市と那須塩原市の交流が始まったわけでございます。

翌平成17年には、リンツ市を派遣先として中学生の海外派遣を開始し、これまでに合計389人の生徒をリンツ市に派遣してまいりました。

平成21年からは、派遣だけではなく、リンツ市からも中学生のホームステイを受け入れており、文化や生活様式の違いを肌で感じながら互いに理解を深め、そして自分の国についても見直す貴重な機会となっております。

さらに昨年7月には、海外都市産業交流促進事業としまして那須塩原市の経

済関連団体がリンツ市を訪問し、産業や歴史、文化などについて、視察をさせていただきます。

リンツ市は、芸術の香り高く、産業と環境のバランスに優れ、アルスエレクトロニカをはじめとする新しい文化的な魅力にあふれるまちであります。

また、ルガー市長は、「ハプスブルグ家と明治維新」について修士論文を書かれるなど、日本に対して高い関心をお持ちであり、那須塩原市と深い関係が築かれることを望まれていると伺っております。

そのようなリンツ市と姉妹都市を提携しますことは、本市にとりましても、学ぶべきことが多く、大変意義のあることと感じております。

今回の姉妹都市提携を新たな出発点とし、これまでの交流により築かれた信頼関係のもと、様々な分野における交流を一步ずつ進めてまいりたいと考えておりますので、リンツ市関係者の皆様におかれましては、末永くお付き合いいただきますよう、よろしく願いいたします。

さて、2020年には、東京でオリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。

両国の選手の活躍を祈念いたしますとともに、多くの皆様が那須塩原市にお越しくださることを期待し、キャンプ地誘致の検討を行っているところです。

オーストリアの皆様がお越しの際は、最高の「おもてなし」で歓迎できますよう、市民一同、心よりお待ち申し上げます。

結びに、リンツ市の益々の御発展と、本日お集まりの皆様の御多幸とご健勝を祈念するとともに、本日の姉妹都市提携調印式を挙げるにあたりご協力いただきました関係者の皆様方に心よりお礼を申し上げ、式辞とさせていただきます。